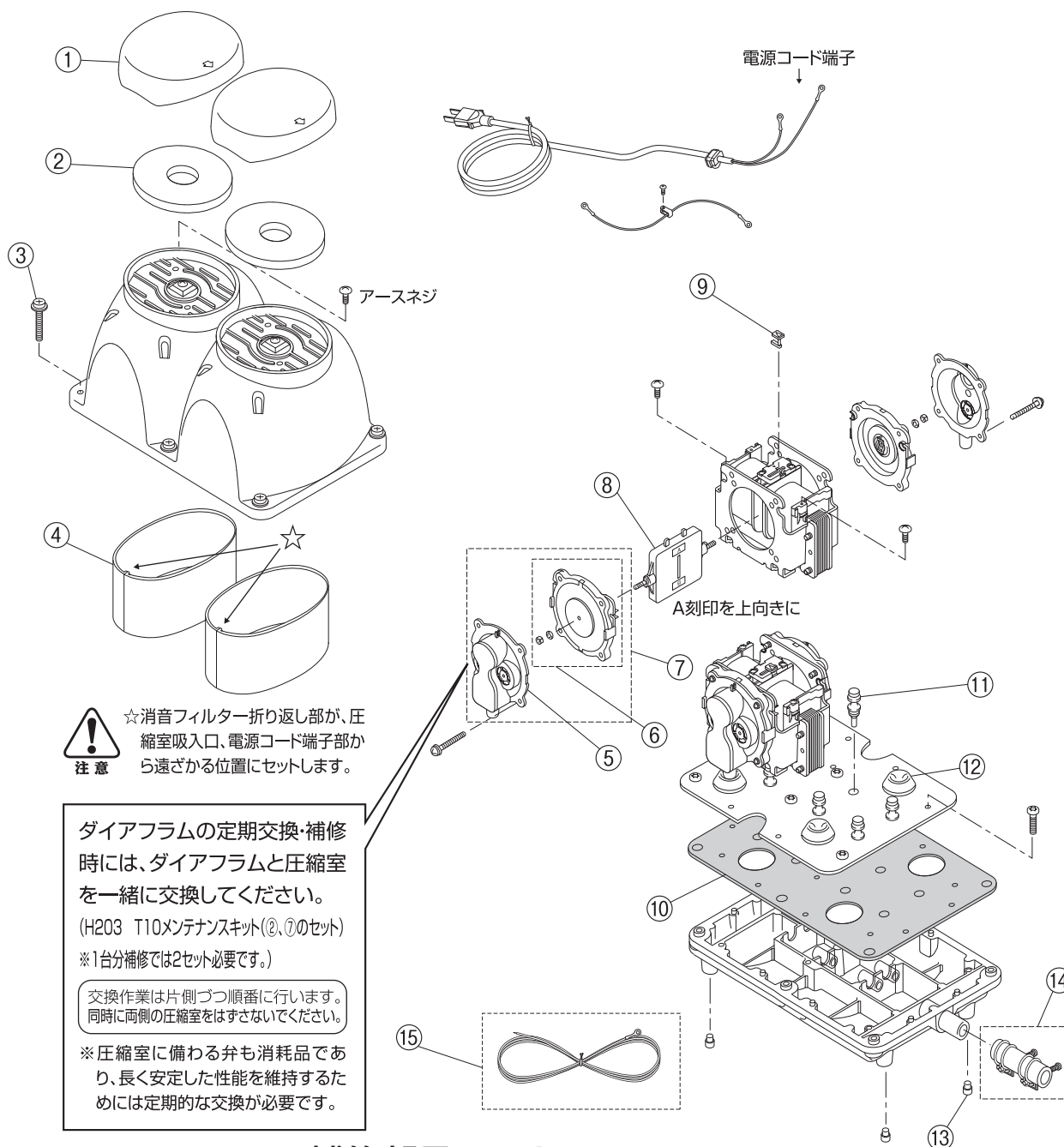


分解図・部品表



TM150E 補修部品リスト

No	品番	品 名
1	H613S	N8フィルターカバー(シルバー) (1個*1)
2	H508	N8エアフィルター (1個*1)
3	H685	M5-20 十字穴付六角ボルト (6本セット)
4	H657	N6消音フィルター (1個*1)
5	H118	T10圧縮室セット (2個*1)
6	H013	N8ダイアフラムセット(★付) (2個*1)
7	H154	T10ダイアフラム・圧縮室セット(★付) (各2個*1)
8	H318	R16振動子セット(★付) (1個*1)

No	品番	品 名
9	H256	N6オートストッパーバー (1個*1)
10	H638	N0タンクパッキン (1枚)
11	H658	N6防振ゴム (4個セット*1)
12	H821	N6吐出グロメットセット (2個セット*1)
13	H659	N6脚ゴム (4個セット)
14	H814	E2吐出ゴムホースセット (1個)
15	H705	アースコードセット (1個)
16	H203	T10メンテナンスキット(②と⑦のセット) (1個*1)

〈★〉ナット・平ワッシャ

*1: 1台分を補修される場合は、2セットご注文ください

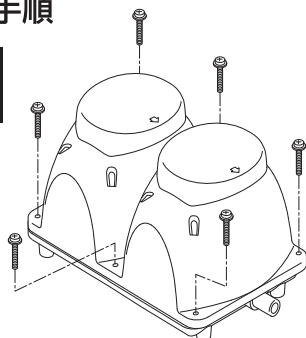
※構成部品は改良のため予告なく変更することがあります。

ダイヤフラムの交換

●交換周期: 1年(ダイヤフラム・弁は1年毎の定期的な交換を必ず行ってください。)

作業手順

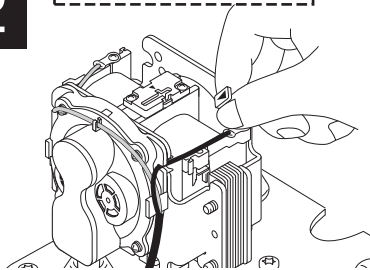
1



カバーボルトを8mmボックスレンチ又は十字ドライバーではずします。(6ヶ所)
※ボルトはなくさないようにしてください。

2

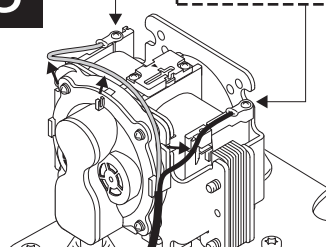
☆消音フィルターははずします!



下図の「オートストッパーバーのはずし方」に従いオートストッパーを取りはずしてください。

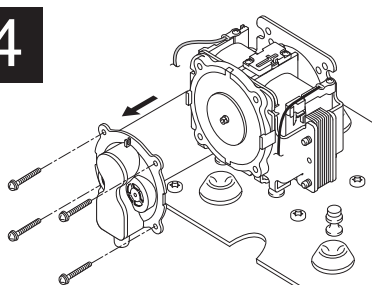
3

ネジは絶対に
はずさないでください。



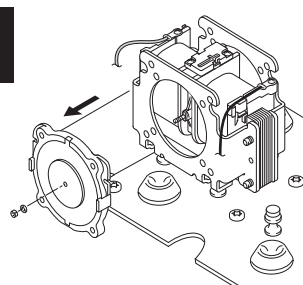
電源コードをフック(3ヶ所)からはずしてください。
注意: コードをとめているネジは絶対にはずさないこと!!
コードは強く引っ張らないこと!

4



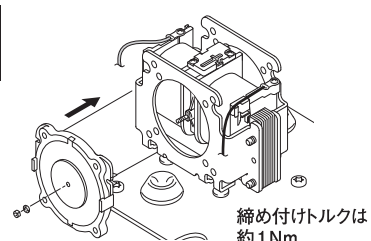
十字ドライバーで圧縮室のネジ4本をはずします。
※ネジはなくさないようにしてください。

5



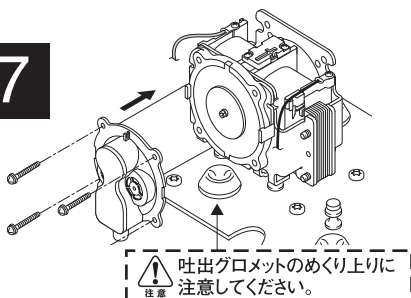
M3ナットを取り
本体よりダイヤフラムをはずします。

6



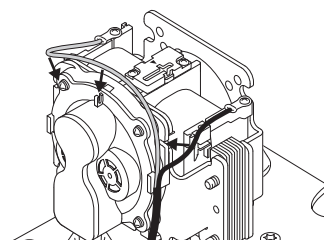
新しいダイヤフラムを取り付けます。
※M3ナットは付属の新しい物を使用してください。
M3ナットはボックスドライバ(ナットドライバ)で十分締め付け
てください。締め付けが足りないとナットが緩み、ダイヤフラム
が振動子から外れ、ポンプが破損するおそれがあります。
※締め付けにボックスレンチを使用しないでください。
使用した場合、振動子のボルトが破断する恐れがあります。

7



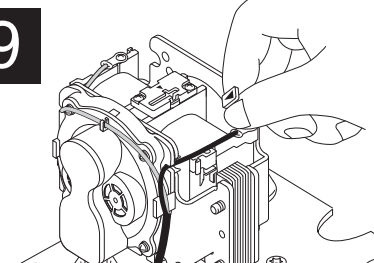
新しい圧縮室セットの吐出口に吐出グロメットに差し込み、
ネジ4本で圧縮室セットを固定します。
続いて、反対側も4から7の作業を行います。
※ネジは少しずつ均等に締め付け、半締めのないように
確実に締結してください。

8



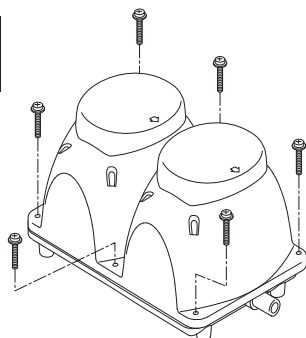
電源コードをフック(3ヶ所)にはめます。
※コードは他部品に当たらないように
ゆとりをもたせて配線してください。

9



下図の「オートストッパーバーのはめ方」に従い、
バーを取り付けます。
☆消音フィルターをセットします。

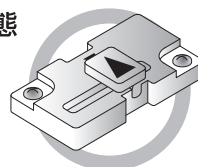
10



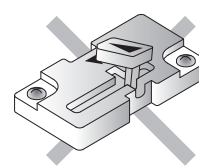
カバーボルトを8mmボックスレンチ又は十字ドライバー
で締めます。
※配線やゴミのかみこみやタンクパッキンがめくれたまま
締め付けないように注意してください。
※タンクパッキンが破損した場合は新しいものと交換してください。
※ボルトは少しずつ均等に締め付け、半締めのないよう
に確実に締結してください。

※作業終了後は必ず試運転を行い、正常に
運転されることを確認してください。

●オートストッパーの状態

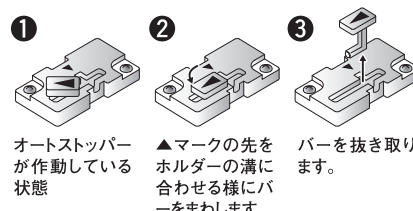


正しくセットされている状態



必ずカチッとなるまでオートストッパーバーを
押し込んでください。中途半端に装着されて
いると、故障の原因になります。

オートストッパーバーのはずし方

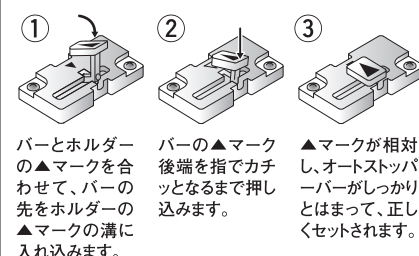


オートストッ
パー
が
作
動
し
て
い
る
状
態

▲マークの先を
ホルダーの溝に
合わせる様にバ
ーをまわします。

バーを抜き取り
ます。

オートストッパーバーのはめ方



バーとホルダー
の▲マークを合
わせて、バーの
先をホルダーの
▲マークの溝に
入れ込みます。

バーの▲マーク
後端を指でカチ
ッとなるまで押し
込みます。

▲マークが相対
し、オートストッ
パーがしっかり
とはまって、正し
くセットされます。